

令和2年度 酒谷小学校学校評価

日南市4つの学ぶ力の育成

○他者から学ぶ力 ○自ら学ぶ力 ○自然から学ぶ力 ○社会から学ぶ力

- 1 学校の教育目標 「心豊かに 体をきたえ 自ら学ぶ 実践力のある子どもの育成」
- 2 めざす学校像 「児童一人一人が輝く学校」「美しく清潔で安心・安全な学校」「地域と連携して、生き生きと活動する楽しい学校」
- 3 めざす子ども像 「かんせいの豊かな子」「がまん強くがんばる子」「やさしい子」「きょうりよくする子」
- 4 めざす教師像 「自ら学び、資質・指導力の向上に努める教師」
「児童と地域を愛し、ともに磨きあう情熱ある教師」
「積極的な経営参加と一致協力して取り組む教師」

<学校経営ビジョン>

小規模校の特性を活かし、全職員が「チーム酒谷」として創意ある教育活動において「4つの学ぶ力の育成」にあたりるとともに、保護者、地域との連携・協働を推進することで、学校の教育目標(心豊かに 体をきたえ 自ら学ぶ実践力のある子どもを育成する)の具現化と、地域に信頼される学校づくりに努める。

重点目標	具体的目標	自己評価結果	評価	評議員評価
確かな学力の定着	○ 学習訓練の徹底と複式授業の充実	一人一授業公開を行い、複式指導の効果的な指導について研修を重ねている。また、学習部を中心に、学習訓練等について職員間で共通理解を図り、児童への指導を行っている。	4	3
	○ 「分かった」「できた」と実感できる授業展開と指導法の工夫改善	全学級において、今日の授業で何を学ぶかがわかる課題(めあて)を提示し、授業の最後には、児童が何を学んだかを児童自身でまとめる授業づくりに取り組んだ。また、校内研修に加え、酒谷小独自の外部講師を招いての研修会を開き、思考力・表現力育成と複式授業の充実を図る取組も行った。	3	
	○ 読書習慣の定着	今年度は、図書室と「たいよう号」で借りた本の読書をあわせて年間1000冊を目標にして読書活動を推進している。しかし、休校や「たいよう号」の来校数減少により、達成は難しい状況である。(2月26日現在879冊 50冊表彰が4名、100冊表彰は1名)。また、保護者アンケートの結果が低いことから、家庭への啓発を行っていきたい。今年度より、言語的環境を整えるため、新聞コーナーを設置した。このことにより、児童が新聞への興味をもつようになり、読む頻度が増えてきている。	3	
	○ 授業と連動した家庭学習の推進	基礎的・基本的な内容の定着や学力向上を図るためにその日の授業の定着を図る宿題を出している。個人差に合わせて、取り組む量を自分で決めさせるなど各担任で工夫している。今後は、形式的なものから効果的なものとなるように工夫し、家庭学習の習慣づけを図る指導を行う。	3	
	○ その他 ☆ICT教育等	デジタル教科書を活用し、分かりやすい授業を展開している。また、タブレットを使ったドリル学習を行ったり、プログラミング学習を行ったりしている。	4	
豊かな心を育む教育の充実	○ あいさつ運動の充実	虹色あいさつ運動や毎日のあいさつは元気で国道を走る運転手に対しても気持ちのよいあいさつができています。来校者や地域の方へのあいさつも進んでできるように働きかけを行っている。	3	4
	○ 道徳指導の充実	人権に関する授業を全学級で実施した。また、授業以外でも「おもしろいやり週間」を定め、友達の良いところを見つけ、全校児童に対して発表して伝える活動を行っている。今後も日常指導や学校行事と道徳の時間との関連指導を通して、学校生活を充実させていく。	4	

令和2年度 酒谷小学校学校評価

	○ いじめ防止基本方針の推進	いじめ・不登校等対策委員会（毎月実施）において、子どものアンケート結果について全職員で今後の対応を考え指導に当たっている。また、主任児童委員とも連携を図り、情報を共有している。特別支援教育の研修も実施し、個に応じた指導や合理的配慮等、支援の在り方を全職員で考えている。	4	
	○ その他 学校生活の満足度	児童が楽しく学校生活を送り、満足感を感じていることが分かる。また、このことは保護者も感じているようである。今後も信頼される学校づくりに努めていく。	4	
健康・体力の向上と安全教育の充実	○ 基礎体力の向上	体育の時間に十分な運動量を確保する指導を心がけた。本年度は、体力テストを実施していないが、体力向上プランに関する職員の意識化を更に図り、実践していく。	3	4
	○ 危険予測・回避能力の育成	避難訓練を年5回実施した。風水害の避難訓練の引き渡し訓練、警察と連携した不審者対応訓練、消防設備会社と連携した火災訓練、津波に対応した地震訓練、予告なしの避難訓練を実施した。想定をいろいろと変え、臨機応変に対応しながら、自分の命は自分で守ることのできる児童の育成を継続して進めていく。	4	
	○ 家庭、関係機関と連携した食育・健康教育・安全教育の充実	学校保健委員会や家庭教育学級において、家庭におけるメディアとの関わり方や食育指導を計画的に実施し、保護者・児童の意識を高めることができた。また、健康オリンピックを実施し、健康に関する個に応じた指導や保護者に対しての支援ができた。市の重点項目であるむし歯予防についても、個別の歯みがき指導を繰り返したり、家庭への啓発を行ったりしている。	4	
開かれた学校づくりの推進と家庭・地域との一層の連携	○ 学校の積極的な情報発信	ホームページで、児童の活動の様子を紹介し、大事な情報はあんしん・あんぜんメールを活用した。また、学校便りを発行し、自治会を通して、各種行事の案内を地域に伝達してもらうことができた。更に、コロナ禍であったが、児童の様子が新聞やテレビで紹介される機会もあった。今後も酒谷小のよさを発信することに努めていく。	3	3
	○ 地域行事への積極的な参加・地域の人材活用	コロナの関係で地域行事に参加することはなかった。今後も積極的に参加する。地域の人材活用では、稲作活動の他、1, 2年生は生活科での動物とのふれあい、3, 4年生は、飼肥や消防署の見学、5, 6年生は、酒谷川の見学、草だんご作りなどを行い、酒谷や日南市のよさに気づく活動ができた。今後も酒谷地区や酒谷小を誇りに思う教育ができるよう工夫をしていきたい。	3	
	○ オープンスクール、授業参観日等の充実	年9回の参観授業を計画していたが、実施できたのは4回であった（3月に予定）。保護者とは、夜の運営委員にて学校行事等の打合せを行い、連携を図ることができた。また、地域コーディネーターと連携して、地域の方の協力を得ながら稲作活動を実施することができた。稲作活動を通して地域の方との交流もでき、児童の様子を見てもらうことができた。今後も地域と協力し、地域と共にある酒谷小の教育活動を充実させていきたい。	3	
	○ その他 ボランティア活動	みどりの少年団活動を中心に国道清掃や元気もり森の除草活動を行った。今後も、奉仕の気持ちをもてるように活動の工夫をしていく。	3	

4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校評議員の総評

- 読書活動については、よくやっている。目標設定を見直した方が良いのではないかな。
- 児童一人一人に寄り添った指導に真剣に取り組んでいる。
- 少人数のよさが生かされ、学力もしっかり身に付いてきていることを感じる。
- 酒谷小の特色を明確にし、今後は神楽等も学習に取り入れるなど、児童が酒谷小での学びに自信と誇りをもてるよう指導してほしい。また、その特色をアピールし、児童数の確保をしてほしい。

令和2年度 酒谷小学校学校評価